

加熱式たばこは健康・安全！！ ではありません

正しい知識① 健康への影響があります

紙巻きたばこに比べて有害成分が少ないとうたわれていますが、発がん性物質をはじめ、多くの種類の有害成分が含まれています。

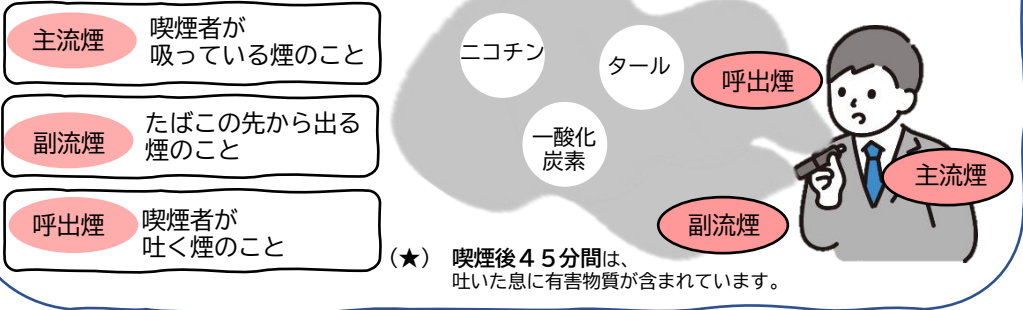
加熱式たばこのパッケージの注意文言（健康警告）にも「加熱式たばこの煙（蒸気）は、発がん性物質や、依存性のあるニコチンが含まれるなど、あなたの健康への悪影響が否定できません。」と書かれています。



正しい知識② 吐いた息により、受動喫煙があります

副流煙がでなくても、吐いた息（呼出煙）に有害物質が含まれます。（★）
現在も周囲の人への影響が研究（※）されています。

（※）紙巻きたばこ・加熱式たばこを使用している父親の家族と非喫煙者の父親の家族の尿中のニコチン代謝物の濃度を測定し、ニコチンが体内に吸収されているかどうかを調べた国内の研究があります。加熱式たばこでも、家族の尿中からニコチン代謝物が検出され、受動喫煙のリスクにさらされることが分かっています。



正しい知識③ 禁煙にはなりません

発がん性物質もゼロではなく、ニコチン量も紙巻きたばこと変わりません。
加熱式たばこに切り替えても「ニコチン依存は継続する可能性」があります。
紙巻きたばこでないから大丈夫ではなく、禁煙が大切です。



❖ご存じですか？ 加熱式たばこ・電子たばこ

◆加熱式たばこ

たばこ葉を電気で加熱し、発生した蒸気を吸入するたばこです。
たばこ葉を使用しているため、「たばこ事業法」に基づく「たばこ製品」に位置付けられ、ニコチンを含み、喫煙に関する規制の対象となります。

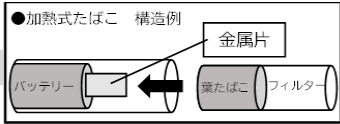
◆電子たばこ

香料などを含む液体を加熱し、発生した蒸気を吸入する製品です。
たばこ葉を使用しないため「たばこ類似製品」とされ、
日本ではニコチンを含む電子たばこの譲渡・販売は原則禁止されています。
個人輸入品には、ニコチンなどの有害物質の含有や、
機器の発火・爆発事故の報告もあり、注意が必要です。

❖注意 乳幼児の加熱式たばこの誤飲事故について

加熱式たばこの誤飲事故が複数報告されています。
最近では、誘熱体として金属片が内蔵された加熱式たばこのスティックも販売されています。

乳幼児のお子さまがいる環境で、加熱式たばこを使用している人がいる場合は、日頃からどのような銘柄、タイプの加熱式たばこを吸っているか周囲の方も把握して、お子さまの手が届かない場所で管理しましょう。



Vol. 649
加熱式たばこの誤飲に注意！
（消費者庁ホームページ）

なくならない乳幼児による
加熱式たばこの誤飲に注意
（独立行政法人国民生活センター
ホームページ）



❖禁煙を考えている方へ

佐倉市では、禁煙に関する相談や、禁煙外来の情報提供など、禁煙を目指すかたへの支援を行っています。
詳細は、お問い合わせいただくか、
佐倉市ホームページをご覧ください。

